

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	都城市	代表者名	池田宜永
担当者部署	総合政策部デジタル統括課	連絡先電話番号	0986-23-2156
担当者役職	副主幹	担当者氏名	河野裕樹
住所	885-8555 宮崎県都城市姫城町6-21		
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 英幸
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体勤務経験もあるアドバイザーであるため、自治体の実務に即し、かつDXに係るビジョンを踏まえた標準化に係る説明を頂いたため、担当課の職員には非常に好評であった。
アドバイザーへの要望事項	引き続き標準化動向を踏まえたアドバイスをいただきたい

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年2月4日	13時30分	16時30分	30	150
3-2. 派遣場所	会場名	都城市役所南別館4階研修室		最寄駅	西都城駅
	所在地	宮崎県都城市姫城町6-21		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員及び近隣自治体の職員、県職員	人数 30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	情報システムの標準化やDX推進のため、本市が取り組むべき課題・問題点の整理がされていないことから、当市の関係職員が、業務効率化を図るために必要な「標準に合わせるための業務プロセス改革」やDX推進の課題・問題点を整理するため手法について学ぶ必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	当市の関係職員が、業務効率化を図るために必要な「標準に合わせるための業務プロセス改革」やDX推進を行うために必要な理解を深めることにより、全庁的に組織している検討会が自走し、職員が最適な業務改善に携わることができるようになるとともに、引いては市民サービスの向上が図られるようにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進と標準化についての関係性を細解いていただくと共に、スケジュールを示していただきながら、取組む意義や必要性を丁寧に説明頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員がなぜDXや標準化に取組むべきか自ら理解できた。会終了後も事務局へ次年度以降のスケジュール等についての質問が相次ぐ等、関心の高まりを感じている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特に無し	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 標準化の意義について理解できた よく理解できた52% 理解できた32% 普通12% 無回答4%	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	遺漏なき標準化への対応及び業務改善	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

